

編集後記

2016年8月3日に来館者100万人を達成した国際平和ミュージアムでは、同年12月に平和教育研究センターが設置されました。ミュージアム開設以来24年間の活動の積み重ねは、また次の大きな飛躍へと向かっています。本紀要も2000年以降18号を重ね、ミュージアムにおける平和研究の学術成果を継続して発信してきました。平和教育研究センターの設置によって、さらに幅広い平和に関連する学術研究の推進に貢献するものと期待されます。また、それに相応しい姿と内容に発展させてゆかなければなりません。

この2016年は、平和憲法公布から70年の節目の年でもありました。その改正への動きが今後強まることが懸念される今、本号では憲法9条が巻頭特集として論じられています。そうした中で、新しい米大統領は中東・アフリカ7カ国からの入国を禁じた大統領令を発令し、司法はこれを差し止め市民は抗議の行動をすすめています。議論、検証、合意への努力を経ずに、強硬な行動がすすめられる姿を目の当たりにする機会が、国内外のそこそこで増している気がしてなりません。

今日の紛争解決や平和創造は極めて困難な課題であり、複数の視点を包含した息の長い取り組みが求められます。平和教育研究センターにおいては、多様な視点と長期にわたる学術研究の深化そしてその社会実践につながる発展が期待されているといえるでしょう。全学園からの広範なインターディシプリナリーの研究の場として、同時に教学への寄与、地域への貢献など、魅力ある取り組みを進めてまいります。

国際平和ミュージアム副館長 中島 淳

投稿へのお誘い

- 立命館平和研究—立命館大学国際平和ミュージアム紀要—では、以下にあげるような、広義の平和に関する研究論文又は学術実践報告の投稿を求めます。
 - ・平和に関する学術研究
 - ・平和に関する教育実践報告
 - ・博物館活動
 - ・博学連携
- 種類と分量
掲載記事の種類と分量は、下記のとおりとし、編集委員会で決定、または承認されたものとしします。
フォーマットは40字×30行とします。

①論文	12,000字～40,000字
②資料紹介	4,000字～20,000字
③研究ノート	4,000字～16,000字
④書評	4,000字～8,000字
⑤調査・研究	4,000字～20,000字
⑥実践報告	4,000字～20,000字
⑦研究展望	4,000字～12,000字
⑧時評・コラム	4,000字～6,000字
- 言語
原則として日本語、横書き、テキスト形式によるもの。
英文の原稿については、事前に編集委員会にご相談ください。
- スケジュール
7月第1土曜日…原稿応募申込締切り
以下の情報をファックス又は郵送（ファックス書面又は封筒に朱書きで「立命館平和研究」応募と明記すること）
 - ①論文の題名（仮題でも可）、②種類、③日本語要旨、④分量

↓

9月末日…原稿締切り

※受取方法：郵送のみ。封筒に朱書きで「立命館平和研究原稿在中」と明記すること。

※提出物：完成原稿と日本語要旨（200字程度）と英語タイトルと英語要旨（250字程度）を印刷とデジタルデータで提出。

↓

3月上旬…刊行（予定）
- 投稿原稿については、編集委員会が審議し、掲載、一部書き直し、返却（掲載不可）などの結果を原稿締切り後3ヶ月以内に投稿者に連絡します。
- 二重投稿はお断りします。
- 論文に画像を掲載するなど、著作権許諾が必要な記事については投稿者が責任を持って許諾を得ること。
- 備考
原稿料はお出ししません。
掲載原稿1編につき、本誌5部、抜刷りを30部進呈します。
- 原稿提出先・お問合せ先
立命館大学国際平和ミュージアム
立命館平和研究編集委員会
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL：075-465-8151 FAX：075-465-7899